

10/27

緑化推進活動に評価

肥後の水とみどりの愛護賞を受賞



湯浅陸雄会長（中央）と荒上征善さん（右）

内牧新町環境整備隊（湯浅陸雄（内牧1区）会長）が「第34回肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞、市長に報告しました。

同賞は、公益財団法人「肥後の水とみどりの愛護基金」などが主催し、水資源保全活動や緑化推進活動に取り組む団体、個人を表彰しています。

同団体は、休耕田への野草の植栽や、空き地の整備などを行っており、8年にわたる活動が評価され、今回の受賞となりました。湯浅会長は「これからは若い世代が活動に参加してくれるとありがたい」と話しました。

10/8

秋の味覚楽しんで

阿蘇ライオンズクラブがサツマイモ寄附



芋掘りをする園児たち

阿蘇ライオンズクラブ（柴田肇会長）がアソ上寿園を訪れ、サツマイモ80キログラムを寄附しました。

今回の活動は社会貢献活動の一環として行われ、アソ上寿園の藤本基子施設長は「焼き芋にして昼食で提供しました。利用者の皆さまは喜んで召し上がっていました。次は大学芋にして提供予定です」と感謝しました。

同14日には同クラブ主催により熊本YMCA黒川保育園（岡山富士男園長の園児との芋掘りも行われ、150キログラムのサツマイモを収穫しました。

10/30

少年の健全育成に功績

高宮正行さんが県教育委員会から表彰



県教育委員会から表彰を受けた高宮正行さん（右）

熊本県の家庭教育の振興に尽力したとして、高宮正行さん（下西河原）が県教育委員会から表彰を受けました。

高宮さんは30年以上にわたり、青少年の健全な育成に貢献してきました。近年は少年サポーターとして、非行少年やその家族への支援を続けています。その功績が評価され、今回の表彰となりました。

高宮さんは「近年は子どもたちがインターネット上での犯罪に巻き込まれる件数が増えている。その怖さを啓発していきたい」と今後の抱負を話しました。

全国大会出場者と結果

●テコンドー (10.25 / 兵庫県)

第14回全日本テコンドーブムセ選手権大会

【ジュニア男子3位・フリースタイルブムセ2位】

佐藤 太一（翔陽高校1年／一の宮中出身）

(10.25)

第1回全日本テコンドーブムセ
オンライン選手権大会

【小学生有級女子3位】 志賀 未理（一の宮小6年）

【U50有段男子2位】 佐藤 眞一郎

●ソフトボール (3.20 ~ 23 / 栃木県)

第39回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会

下村 彩葉（熊本商業高等学校2年／阿蘇中出身）

吉田 和夏菜（熊本商業高等学校1年／阿蘇中出身）



11/8

阿蘇の山を駆け上がる

阿蘇ヒルクライムモニター大会開催



ランニング部門の参加者(左)と自転車部門の参加者(右)

「阿蘇ヒルクライムモニター大会」がランニングと自転車の2部門で行われました。

有志による実行委員会が主催したもので、今後の本格実施に向けて試験的に行われました。市内外から200人を超える人が参加し、阿蘇いこいの村跡地から草千里ヶ浜までの高低差592メートル、距離11.1キロメートルのコースを駆け上がりました。

自転車部門で優勝した熊本市の木村拓哉さんは「景色が美しいコースだった。次があれば絶対に参加したい」と話しました。

10/31

森林の重要性学んで

城山展望所で薪づくりワークショップ



チェーンソーで木を切断する参加者

一の宮町三野の城山展望所で、薪づくりワークショップ「暖談の会」が開催されました。

森林の重要性や持続可能な循環型社会について学んでもらおうとNPO法人九州バイオマスタフォーラムが主催したもので、市内外から14人が参加。参加者は切り倒したサクラやケヤキなどをプロに教わりながらチェーンソーで切断、時割り機で薪にしていきました。初めて参加した向井幸治さん(古神3区)は「間伐など森林の維持について重要性や課題が理解できた。また参加したい」と話しました。



▲市長賞
「マイバックマンを増やそう！」
阿蘇小5年
山口夕綺さん



▲市長賞
「3Rで地球を守ろう！」
一の宮小6年
森永玲奈さん



▲議長賞
「食品ロスをへらそう」
一の宮小5年
岩下千暖さん



▲教育長賞
「ごみをすてれば命をうばう」
波野小5年
志賀蓮星さん

環境問題への関心深めよう

ごみを減らす絵画児童コンクール作品発表

受賞	学校名	氏名
市長賞	一の宮小6年	森永 玲奈
	阿蘇小5年	山口 夕綺
議長賞	一の宮小5年	岩下 千暖
教育長賞	波野小5年	志賀 蓮星
優秀賞	内牧小6年	大塚 信乃
	内牧小6年	河津 咲希
	阿蘇小6年	松永 なぎさ
	波野小6年	後藤 彩心

令和2年度阿蘇市ごみを減らす絵画児童作品コンクールの審査会が行われ、小学4年～6年生が応募した307点の中から8作品が入賞しました。

子どもの頃からごみ問題や環境への関心を深め、正しい認識を持ち成長してもらおうと実施しているこのコンクールは、今年で13回目を迎えます。

市長賞をはじめ、各賞を受賞した皆さんには賞状と副賞が贈られます。入賞作品は、12月末まで市役所本庁市民課カウンタ―に展示されます。

11/13 区長として地域に貢献

佐藤眞佐雄さんに旭日単光章



佐藤眞佐雄さん（中央）

地方自治の発展に多大な貢献をしたとして旭日単光章を受章した佐藤眞佐雄さん（深葉）が、市長に受章を報告しました。

佐藤さんは平成11年から現在に至るまで行政区長として域内の連絡調整をはじめ、サロン活動や自主防災、災害時の見回りなど多岐にわたり活動し、地域共同活動の振興に多大な貢献をされています。

佐藤さんは「区長をやれているのも深葉の皆さんの支えがあったからこそ。若い人たちがしっかりと深葉を盛り上げていけたら」と今後の抱負を語りました。

11/13 市議として多大な功績

井手明廣さんに旭日双光章



井手明廣さん（中央）

地方自治の発展に多大な貢献をしたとして旭日双光章を受章した井手明廣さん（上井手）が、市長に受章を報告しました。

井手さんは平成15年に一の宮町議会議員に当選以来、平成31年2月までの間、4期16年余り在职し、副議長等を歴任。議会の円滑な運営をはじめ、九州北部豪雨・熊本地震の復旧復興にも多大な貢献をされました。

井手さんは「こうした評価をいただいたのも皆さまのおかげ。今後はより一層阿蘇市に貢献できたらと思う」と今後の抱負を語りました。

11/14 火山知識の普及に寄与

阿蘇火山博物館が気象庁等から表彰



佐藤市長と阿蘇火山博物館関係者の皆さん

阿蘇の火山やカルデラの生い立ちを総合的に学習・見学ができる阿蘇火山博物館（池辺伸一郎館長）は、多年にわたる火山防災やジオパーク活動を通じた火山学の普及啓発に寄与したことが評価され、気象庁と日本火山学会からそれぞれ表彰を受け、市長に報告しました。

池辺館長は「博物館の取り組みが評価され、たいへんありがたい。今後もさらに努力をしていきたい」と抱負を語りました。

同館は、市などが進める文化観光の推進のための中核施設としての役割も期待されています。

11/14 祝来場者 50 万人突破

阿蘇山上ビジターセンター



田村さんご家族と運営協議会の皆さん

阿蘇山上ビジターセンターの来場者が50万人を突破し、同施設が入る阿蘇火山博物館で記念セレモニーが行われました。

同センターは、2019年3月に新設された阿蘇の火山や自然の魅力を総合的に紹介する展示施設です。

めでたく50万人目の来場者となったのは、福岡市から訪れた田村さんご家族。同センターの運営協議会会長である市長らから記念品等が渡されました。

長男の恭平君は「初めての阿蘇旅行で楽しみにしていた。とてもうれし」と二重の喜びでした。